

# News Letter

世界に賛美と福音を

工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ

<http://akworship.com/>

Vol.64

WINTER  
2017



AKWM

(旧、工藤篤子音楽ミニストリーズ)

## 霊の戦い

工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ 代表

工藤 篤子

私たちの格闘は血肉に対するものではなく、主権、力、この暗やみの世界の支配者たち、また、天にいるもろもろの悪霊に対するものです。

(エペソ人への手紙 6章12節)



霊の世界に目が開かれ始めたのは4年前、2013年のことです。ひとりの求道者との関わりを通して、「霊的事件」と言ってもよいほどの状況に遭遇しました。マリア福音姉妹会の創設者バジリア・シュリンクから深い霊的示唆を受けてきたことは、10年前に出版した「賛美のこころ」にも記させていただきましたが、彼女の語る霊の戦いに関しては、まだピンと来ていないものがありました。しかし、信じられないような出来事が起こり始めた時、図らずも、霊の戦場に立たされてしまったこと、また、神が、闇の力に支配されていたその人をキリストのもとへ導く働きのために、私を用いようとしていたことを認識したのです。それからというもの、小羊イエスの血潮をその人と私の上に呼び求め、勝利者イエスを高らかに賛美し、聖書のみことばを宣言する日々が始まりました。そして2か月後、その求道者はついに敵の力から解放され、イエス・キリストのもとへ行くことが出来たのです。以来、冒頭のエペソ6:12のみことばが、現実のものとなりました。

ダニエル書10章を見ると、ダニエルのもとへやってきた天使が、到着に21日間もかかったと言っています。それは、途中で「ペルシャの君」(サタンから遣わされたペルシャの国を支配する墮天使)と戦わねばならなかったからでした。「ペルシャの君」が、その天使をダニエルのもとへ行かせまいと阻止したのです。しかし、「イスラエルの君」ミカエルが助けに来てくれたので、その天使はやっとダニエルのところに来ることが出来ました。そして、ダニエルに神の預言を告げたのち、その天使は、再びペルシャの君と闘うために帰って行くが、彼が出かけると、ギリシャの君がやって来る、と言いました。当時、イスラエルはペルシャに支配されていました。後には、

ギリシャによる支配の時代になります。ここから、霊の世界の戦いが、そのまま、地上に起きていることが分かります。見える世界で起きていること、さまざまな事件、教会内に突如として起きる問題、さらには多くの事故や病気さえも、その多くが、闇の力の妨害によるものです。神の国を実現させるためには、見えない霊の世界に壮絶な戦いがあることを知り、具体的な祈りをささげて行く必要があります。

昨年9月のブラジル・ツアーでは、コンサートを妨害しようとするさまざまな霊的現象を目のあたりにしました。しかし、恐れることなく、十字架で流された尊いイエスの血潮を呼び求め、神のことばとキリストの勝利を宣言し、私たちの王であり、勝利者であるイエスを高らかに賛美するとき、敵の力は退かざるを得なくなるのでした。

私たちが主の兵士としてこの戦いに挑むには、まず、「聖」とされることが大切です。日々、主に光を当てていただいて示された罪を告白し、洗いきよめられて行く必要があります。その上で、エペソ6章に書かれているすべての神の武具を取り、主に戦い方を教えていただくのです。また、祈りと断食をもって、主に霊の力を増し加えていただくことも大切であると思います。

今年は、年頭に、「暗やみから光に、サタンの支配から神に」(使徒26:18)というみことばが与えられました。その働きのために、4月までみことばと祈りの時を持ち、これからの働きのために備えたいと思っています。どうぞ、主が、この者を強め、霊の腕と足を鍛えてくださいますよう、お祈りください。

# ハワイ・レポート

往復の旅程を含めて、11月17日～29日、ハワイ・オアフ島で奉仕をさせていただきました。4回の伝道コンサート、2回の礼拝メッセージ+賛美、3回の礼拝賛美と証し、3回の福音ラジオ放送出演という、大変過密なスケジュールでしたが、ひとつひとつの奉仕に主が聖霊の力を注いでくださり、大変感謝な奉仕をさせていただくことができました。背後で捧げてくださいました皆さまのお祈りに、心から感謝いたします！

## ハリス・合同メソジスト教会

11月22日(火)、1881年にホノルルの日本人第一教会として発足した、ハリス・合同メソジスト教会の会議室で、中村裕二先生がこの教会で始められた日本語集會主催によるコンサートをさせていただきました。小さな会議室に置いた椅子がピッタリ埋まりました。小さな会場の良さは、来てくださった方々との距離がぐんと縮まることです。和気藹々とした雰囲気の中で、賛美とともに福音をお伝えすることができました。

## マキキ聖城基督教会

土佐藩(高知県)の士族に生まれた奥村多喜衛師は、1932年、ホノルルに、高知城天守閣にそっくりなマキキ聖城基督教会を建てました。11月23日(水)マキキ教会『のぞみの会(高齢者デイケアサービス)』主催のコンサートでは、5年前から教会に集っておられる70代の男性が主に触れられ、信仰の決心に導かれました。主が、その方の信仰を確かなものとし、これからの歩みを導いてくださいますように！

## 木曜午餐会

25日(金)、98年続いているという日系人の学びの会『木曜午餐会』主催のコンサートでは、歌わせていただいた私が驚くことができました。参加者のほとんどが仏教徒、創価学会の方々だったのですが、見ると、コンサートの間、多くの方々が顔をくしゃくしゃにして涙されているのです。主が皆さんの心に触れてくださったのでしょう。ひとりの方は、コン

サート後もしゃくり上げて泣いておられました。救い主はイエス様しかいないことをお伝えしました。嬉しいことに、この日の参加者の皆さんは、多くの知人友人を誘って、27日のクリスマス・コンサートにも来てくださいました。

## クリスマス・コンサート『ここに光を』

27日(日)、今回のツアーのメインであった、ハワイ日本語キリスト教会連合主催のクリスマス・コンサート『ここに光を』、会場は、カリヒ・ユニオン教会。コンサートには、総領事ご夫妻を始め、日系人、日本人、アメリカ人、ハワイ人、フィリピン人、韓国人、中国人など、約400名の方々が来られました。会場内に椅子が収まりきらないので、両サイドの障子(大きな会堂ですが、教会の両サイドは何と日本の障子です!)を開け、外にも椅子を設置していました。このコンサートも、プログラムの中心は十字架でした。多くの方々の心に、クリスマスのメッセージが届いたようです。

オアフ島には、約20の日本語教会・集會がありますが、そのうちの12の教会がハワイ日本語キリスト教会連合に加わっています。連合の先生方はとても仲が良く、週に一度祈り合う時を持っておられます。先生方が交代で、毎日放送される福音ラジオ放送『ここに光を』を担当し、また年に一度、連合教会合同のクリスマス・コンサート『ここに光を』を企画、ハワイの日本語を母国語とする方々に、力を合わせて福音を伝えておられます。主が、オアフ島の日本語教会の働きを大いに祝福し、ハワイ在住邦人と日系人、また、ハワイに住んでおられるすべての皆さんを、永遠の御国へと導いてくださいますように！



11月27日、クリスマス・コンサート「ここに光を」(カリヒ・ユニオン教会)

このニュースレターは、次の方々のご支援をいただいています。

**VIP関西センター  
テナントビル**



地下鉄北浜駅②号出口正面

〒541-0041 大阪府中央区北浜2-3-10  
TEL.06-6232-1185 担当者:梅津

医療法人  
**クリニック石田**

診療科目/耳鼻咽喉科

〒558-0055  
大阪市住吉区万代3-12-5  
ハイムスタイン2階

南海高野線・帝塚山駅下車/徒歩10分  
阪堺軌道鉄道土町線・帝塚山3丁目下車/徒歩5分  
大阪府立急性期医療センター前/北に徒歩3分

 TEL.06-6676-1700  
院長:石田 稔  
http://www.eonet.ne.jp/~clinic-ishida/

**(有)吉屋**

〒558-0014  
大阪府大阪市  
住吉区我孫子5-4-13  
TEL 06-6699-2415

 産科・婦人科・小児科  
医療法人社団グローリア会  
**月寒グローリアクリニック**

院長 平島 功二

〒062-0053  
札幌市豊平区月寒東3条16丁目3番8号  
TEL.011-854-4103 FAX.011-854-4127

**ミクニカイ株式会社**  
水とエネルギー

本社 〒532-0033  
大阪市淀川区新高3丁目7番9号  
TEL(06)6394-0671  
FAX(06)6394-0710  
E-mail:sakamotot@mikunikikai.com  
URL:http://www.mikunikikai.com

株式会社  
**富川グローリアホーム**

「終の住みか」を備えるために  
労れます。

〒055-0006  
北海道沙流郡日高町富川南4-2-49  
TEL.01456-3-4000

**atelier  
phos**

DESIGN < WORK

http://atelier-phos.com/



# 宗教改革時代の賛美 6

ルターからバッハへ



今から500年前の1517年10月31日、『煉獄』(注)での罰が軽減すると言って売られていた免罪符を、ルター(1483-1546)はヴィッテンベルクの城教会の扉に95か条の提題を打ち付けて批判しました。これが、宗教改革(礼拝改革)の発火点となりました。

それまでの教会は、司祭と音楽の訓練を受けた聖職者しか神の前に賛美をささげることが許されていませんでした。しかし、何の資格もない者が信仰によって義とされるというルターの告白によって、会衆は万人祭司として神の前に立ち、堂々と神を賛美することが許されるようになりました。ところが難しい曲は万人には歌えません。またラテン語では歌う意味もよく分かりません。そこで、まずルターを筆頭に、彼の信仰に追従した賛美作者たちが、自国語の聖書のことばや靈の歌、信仰の証しを歌詞にし、単純な旋律で賛美歌を作ることになりました。これが『コラール』(会衆賛美)です。ルターの有名な「神はわがやぐら」のメロディーは、当時よく知られていた民謡でしたが、そのメロディーのもとをたどれば、いにしへの讚美歌であったとされています。

ルターは「音楽は神学に近く、音符が言葉を生き生きとさせる。」と言いました。彼は、神学の次に大切なのは音楽である、とさえ語ったそうです。修辞学(言葉を美しく用いて効果的に表現する方法)を音楽に適用するなら、歌詞を表現する旋律と和音が適切で人の心に語りかけるものでなければいけません。ルターにとって、その根本はみことばの宣教でした。

ルターの教会音楽論の影響を受けて、100年後、ドイツの『三大S』と呼ばれる作曲家、シュッツ(1585-1672)、シャイン(1586-1630)、シャイト(1587-1654)が、礼拝で朗読される聖書箇所のうち特に重要な部分を格言として、聖書解釈を音型化してゆく『格言モテット』を生み出しました。

それから100年後、つまりルターから200年後、J.S.バッハ(1685-1750)が誕生します。ライブツィヒ、トーマス教会のカントール(教会音楽監督師)に就任したバッハは、それまでの流れを受け、説教の一部として、多くの礼拝音楽を書きました。バッハは礼拝音楽を作曲する際、牧師が厳密に説教の準備をするように、ギリシャ語、ヘブライ語から語句解釈を行いました。ですから彼の作品を調べると、聖書の深い理解と音楽手法とが見事に一致しているのです。

バッハは、b(フラット)をキリストが身を低くするときの表現に用いました。ドイツ語では、#(シャープ)をクロイツと言います。クロイツは十字架という意味です。バッハは、キリストが十字架に上げられたことを表現するのに、音に#を付けました。そのほか、

- キリスト Christ ⇒ C音、八長調、八短調
- 神 Gott ⇒ G音、ト長調、ト短調
- 神 Deo ⇒ D音、二長調、二短調
- 十字架 ⇒ 半音階的音型
- 十字架にかかる ⇒ 十三音
- 十字架を担いで歩く ⇒ ごつごつした音型
- 十字架上の叫び ⇒ 減七の和音
- 三位一体、喜び、天国 ⇒ 三拍子+三連符

等々…。このように、バッハによって、ドイツ・プロテスタント礼拝音楽は頂点を迎えますが、残念なことに、バッハの死に境に長い衰退期に入ることになります。

(注)『煉獄』(ラテン語 Purgatorium)は、カトリック教会の教義で、天国には行けなかったが地獄にも墜ちなかった人の行く中間的なところ。苦罰によって罪を清められた後、天国に入るとされる。また煉獄へ行った人々のために、地上で祈りが捧げられるならその人は天国へ導かれるともされ、「レクイエム」と呼ばれるミサがささげられるようになった。モーツァルト、ヴェルディ、フォーレなど多くの作曲家が有名な「レクイエム」を作曲しているが、実際には、これは、煉獄へ行った死者のための音楽である。

**教会や少人数グループでのイスラエルツアーを計画しませんか。**

ご予算や人数に応じて、ご要望にお応えできる聖地旅行を企画、見積もりいたします。充実、お手頃価格、手作りのツアーをなさいませんか。お気軽にご相談ください。

**(株)ホーリーランド ツーリストセンター**

担当:石田  
TEL: 06-6226-1307  
FAX: 06-6226-1308  
E-mail: htcjrm@nifty.com

**賛美セミナーⅡ DVD 2枚組**  
15年11月7日大阪セミナー録画  
定価4,000円(税込)

賛美セミナーⅠのアイテムと合わせてご注文される場合、特別価格でお求めいただけます。その際は、オンラインストアではなく、メール、電話、ファックスでお申し込みください。

**賛美セミナーⅠ DVD 2枚組**  
13年11月4日大阪セミナー録画  
定価4,000円(税込)

**賛美セミナーⅠ CD 4枚組**  
13年11月9日東京セミナー録画  
定価4,000円(税込)

**賛美セミナー DVD、CDも好評発売中!**

**工藤 篤子 著書&音楽CD 好評発売中**

ご注文、お問い合わせはAKWM事務局まで

**主よ人の望みの喜びよ**  
定価1,500円(税込)

**よき力に守られて**  
定価2,500円(税込)

**ほんとうの願い**  
定価3,000円(税込)

**神だけが**  
定価2,500円(税込)

**カンシオン**  
定価2,500円(税込)

**Come To Me**  
定価3,000円(税込)

**讚美 Adorar**  
定価1,500円(税込)

**讚美のころこ**  
定価1,600円(税込)

# Schedule 工藤篤子 2017年スケジュール

<b>5月</b>	
上旬	来日
20日(土)	<b>NPO 法人 三島子ども文化ステーション コンサート</b>
25日(木)	<b>第32回 癒やしと賛美 「地中海ソプラノ 工藤篤子コンサート 南港公演」</b>
<b>6月</b>	
上旬	帰国
<b>8月</b>	
3日(木)～6日(日)	<b>第34回ヨーロッパ・キリスト者の集い (ライプツィヒ)</b>

<b>10月</b>	
上旬	来日
22日(日)	<b>神奈川県二宮山西キリスト教会 賛美コンサート</b>
27日(金)	<b>AKWM主催 第16回チャリティー・コンサート</b>
29日(日)	<b>宝塚栄光教会 賛美コンサート</b>
<b>12月</b>	
4日(月)	<b>プレイズ・ワークショップ</b>
10日(日)	<b>クライストコミュニティ宝塚チャペル クリスマス・コンサート</b>
24日(日)	<b>青森県 五所川原福音キリスト教会 クリスマス・コンサート</b>

## Echo

### 2016年クリスマス・コンサート

■今日のコンサートは大変感動しました。表現は適当でないかもしれませんが、なにか「出会い」を感じたような印象を強く受けました。このような歌声が本当にあるのだろうか、どこからか響いてくるような美しい声に、ただただ聞き惚れるだけで、どのように表現してもこの感動は伝えられないだろう、と思いながら歌を聴かせていただきました。コンサート後購入させていただいたCDを聴きながら、感動を再度、味わおうとしています、やはり工藤さんの語りがあることによって聞く歌の深さが違ってくるような気がします。(ハワイ、ノンクリスチャン)

■工藤さんが一声発しただけで、たちまち心の琴線が震え、魂が喜びに湧く。場を清め、全身全霊で祝福してくれるような歌声だった。(ハワイ、クリスチャン)  
 ■とても素晴らしかった。はじめの方からブワッと鳥肌が立ってしまいました。(日本、高校生)  
 ■バツハの#とbの説明に感動しました。(日本、カトリック信者)  
 ■自分のおいたちや過去のあやまちまで告白され、神によって救われ、今の美声を手に入れられたのだと思います。大変心に響きました。(日本、ノンクリスチャン)



### 2016年AKWM会計報告

感謝と共にご報告いたします。

収 入		支 出	
2015年より繰越	1,353,399	工藤篤子姉 生活費・活動費	3,768,596
献金	4,334,516	工藤篤子姉 個人年金積立金	340,416
ニュースレター協賛広告費	220,000	ニュースレター発行・発送費	382,090
利息等	131	事務費	159,038
		スタッフアルバイト料・交通費	306,847
		事務局賃借料・光熱費	542,759
		賛美セミナー経費	21,710
		振込手数料	22,034
		接待交際費	1,909
		対外献金	160,340
		2017年への繰越	202,307
収入合計	5,908,046	支出合計	5,908,046



工藤篤子ワークショップ・ミニストリーズ 事務局  
Atsuko Kudo Worship Ministries

AKWMの伝道活動は、皆様のお祈りと献金と奉仕によって成り立っています。ご支援くださる皆様をこの活動の一員と考えています。この活動がますます主に用いられ、宣教が進みますように、どうぞ一員としてご参加、ご支援ください。

〒541-0041 大阪市中央区北浜2丁目3番10号  
VIP関西センター5F「ミッション・宣教の声」方  
TEL.06-6226-1334 FAX.06-6226-1336

#### 口座が新しくなりました

郵便振替口座 00930-1-165955 「工藤篤子ワークショップ・ミニストリーズ」  
銀行振込口座 三菱東京UFJ銀行 瓦町支店 (店番003)  
普通預金 0133752 「工藤篤子ワークショップ・ミニストリーズ」

※三菱東京UFJ銀行にお振り込みくださる場合はお名前前の表示をお願いいたします。あるいは事務局にご連絡いただけますなら感謝です。

✉ メールマガジン登録受付中!

[office@akworship.com](mailto:office@akworship.com)

メルマガ購読を希望される方や、その他のご連絡などは、上記のメールアドレスまでお願いします。メールマガジン、ニュースレターは、下記のホームページでもご覧いただけます。

Japanese HP <http://akworship.com/>

English HP <http://www.fgec.de/atsuko>

AKWM事務局のメールアドレスと日本語URLが新しくなりました